NIE実践報告

1．タイトル：☆新聞を活用し「人間生活と環境の関わりを考える」

2．学校名

岐阜県立岐阜農林高等学校

3．実践者名（代表者名）

栗山治文

4．学年

第2学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

理科総合Ａ　79人（2クラス）

6．単元（本時の学習課題）名

人間生活と環境

7．目標（狙い）

新聞記事を通して「環境問題」「有害物質の影響」「環境保全」を考える。

8．評価の視点

「記事の内容が把握できているか」「記事の内に記載されている又は記事の根底にある人間との関わりにおける問題点をとらえているか」「問題を解決するにはどうしたらよいかを自分の考えとして述べているか」を評価の視点と考え生徒が報告した「調査用紙」を点検した

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数

（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「科学・技術の進歩と人間生活」中の「人間生活と環境」で新聞記事を利用した課題研究として取り扱う。

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①夏休み終了後の最初の授業において、「ＮＩＥ実践についての説明」を行う。（1時間）
　主に　新聞の配布について、調査用紙の書き方、提出の仕方について
②月に1回行い、1回につき2日分の新聞を渡し「環境問題」「有害物質の影響」「環境保全」に関係する記事をさがさせ、さがした記事について「記事の概要」、「人間との関わりにおける問題点」「この問題の解決策」を調査用紙に書かせ提出させた。これを2ヵ月間実施した。（宿題）
③実施後のアンケート調査・感想や意見など。（1時間）

11．児童・生徒の反応、感想・意見

環境問題に以前より関心を持てるようになったとか、自分がどうすればよいか考える事ができたと答えた生徒が多く見られた。

12．成果と課題

月に1回の実施のため、新聞を見る習慣づけまでにはならなかったが、人間生活と環境に関わる問題を身近な問題としてとらえ、今後の人との関わりの中で自分はどうしていけば良いかを考える機会が得られたと思う。